

予習問題

1. 省略
2. 省略

演習問題 A

12-A1 「4 つの危機」参照

12-A2 人間社会は、生態系サービスの恩恵をうけて成り立っている。よって、生態系の主要な構成要素である生物多様性の豊かさは欠かせない。

12-A3 生物多様性条約によって、生物多様性国家戦略の策定や外来種対策、環境影響評価の導入が求められ、新たな国内法が整備されたり、既存の法律を改正して生物多様性条約の理念が導入されたりした。

演習問題 B

12-B1 生態系サービスは、生態系を構成する多様な生物からの恩恵であり、直接利用しなくても我々の生活を間接的に支えていることもある。また、さまざまな生物は潜在的な「資源」として捉えることができ、できるだけ減らさないことが得策である。

12-B2 生態系は非平衡で動的なものであり、不確実性が高く予測が難しい。よって、いったん計画を立て保全に取り組んでも予測通りいかないことも多く、計画変更も求められることがある。

そこで、変化する生態系の状況を確認しながら、予防的取組によって慎重に扱いつつ、協働によってさまざまな利害関係者が情報共有と相互理解を進め、臨機応変に順応的な取組が必要となる。

12-B3 多種多様な生物が生息できる環境の存在こそが、豊かな生態系サービスを生み出す必須条件である。よって、その環境（＝豊かな生態系サービス）が失われてしまったら、人間生活の豊かさや利便性は確保されない。